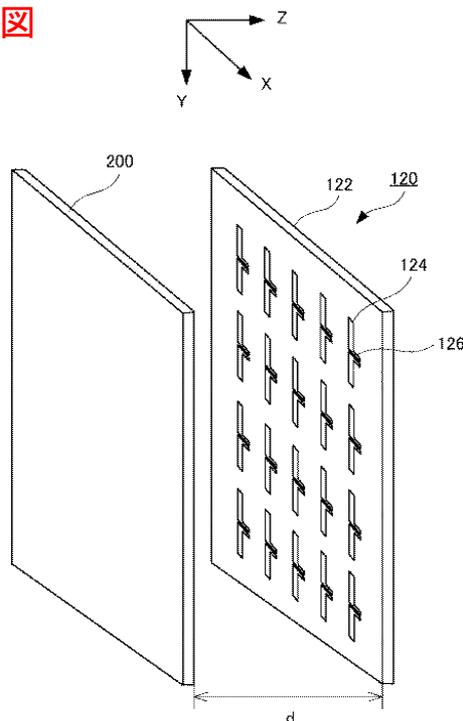


発明の名称	共振周波数可変アンテナ、それを備えた電磁波エネルギー回収装置、及び共振周波数可変アンテナの調整方法		
出願人/権利人	株式会社国際電気通信基礎技術研究所	発明者	鴨田 浩和、花澤 理宏、北沢 祥一、伴 弘司、小林 聖
出願日	平成25年3月22日	出願番号	2013-060184
公開番号	2014-187493	特許番号	6150329
法的状態	登録中		

代表図



120、アレイアンテナパネル
122、基板
124、ダイポールアンテナ
126、リード部
200、誘電体板

発明の概要

電磁波エネルギーを回収するための受信周波数(共振周波数)可変アンテナアレイ。

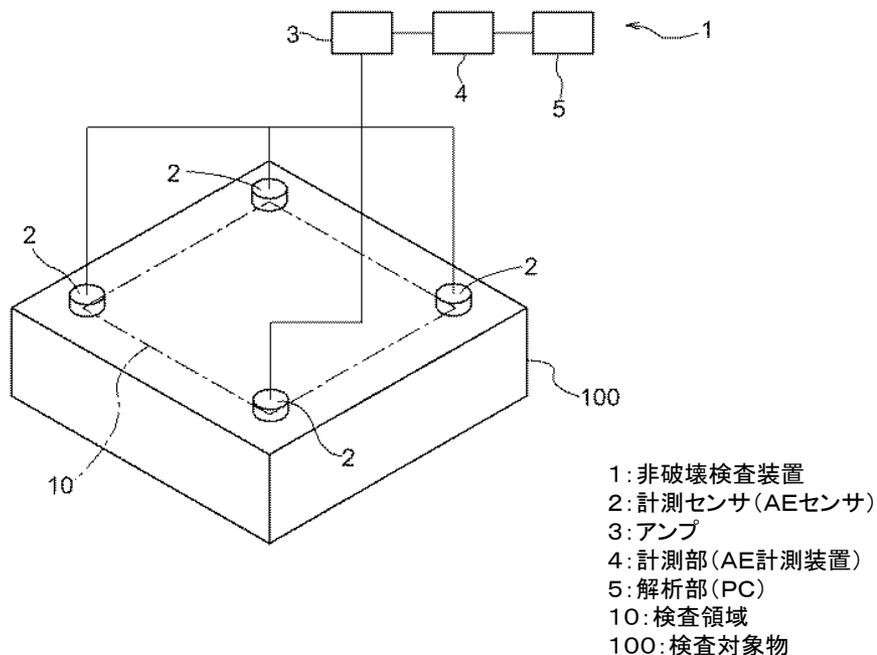
特徴

環境中に存在する放送又は通信の電波は電力としては微弱であり、多くの電力を回収するためには、複数のアンテナをアレイ状に配列して微小電力を合成する必要がある。その際、各アンテナの受信周波数を調整する必要があり、アンテナの数が多いと、調整作業が煩雑となる。

本発明においては、複数のアンテナの各共振周波数を、電力を消費することなく、一度に簡単に調整することができる共振周波数可変アンテナのアンテナアレイを用いるため、簡単な調整作業で電磁波エネルギーを回収することができる。

発明の名称	非破壊検査方法及び非破壊検査装置並びに弾性波トモグラフィにおける情報特定方法及び情報特定装置		
出願人/権利人	株式会社CORE技術研究所	発明者	塩谷 智基、小林 義和、小椋 紀彦
出願日	平成27年11月24日	出願番号	2015-229175
公開番号	2017-96773	特許番号	—
法的状態	審査中		

代表図



発明の概要

弾性波トモグラフィを用いた構造物の非破壊検査方法及び非破壊検査装置。

特徴

繊維強化プラスチック等の速度異方性を有する材料を有する構造物が近年増えてきているが、従来の非破壊検査手法は等方性材料で作製された構造物を前提としているため、このような構造物に適用しても精度よく検査することはできない。

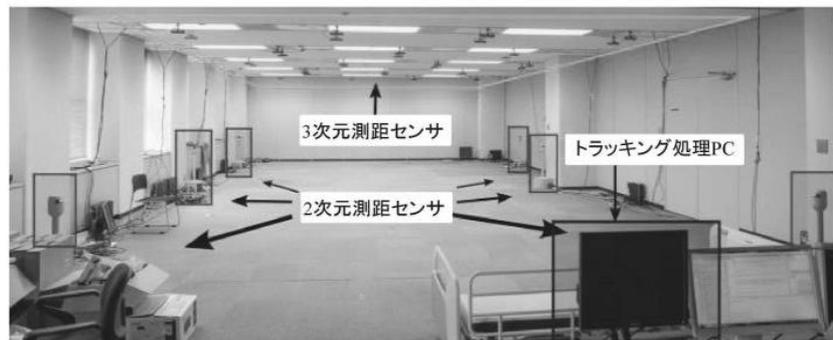
本発明においては、検査対象物から発せられた音を測定する計測センサを検査対象物の表面に複数配置し、音の推定発信時刻及び推定発信位置並びに弾性波速度分布を決定して検査領域を検査する方法であることから、異方性材料を含む検査対象物の検査を精度よく行うことができる。

関連分野

電気機械、建設・土木、電算機類

発明の名称	キャリブレーション装置、キャリブレーション方法およびキャリブレーションプログラム		
出願人/権利人	株式会社国際電気通信基礎技術研究所	発明者	ディラン フェアチャイルド グラス、ブルシュテッチ ドラジェン、フローラン フェレリ
出願日	平成27年11月25日	出願番号	2015-230092
公開番号	2017-96813	特許番号	—
法的状態	出願中		

代表図



32i, 32j: 3Dレンジセンサ

発明の概要

3次元距離センサの位置および方向を較正することが可能なキャリブレーション装置。

特徴

観測する領域内に存在する人間の数が多い場合、天井から人間を3次元距離センサにより観察することが考えられるが、距離センサの較正を3次元空間に対して行うことが必要となり、システムの較正作業の負荷が増加してしまう、という問題がある。

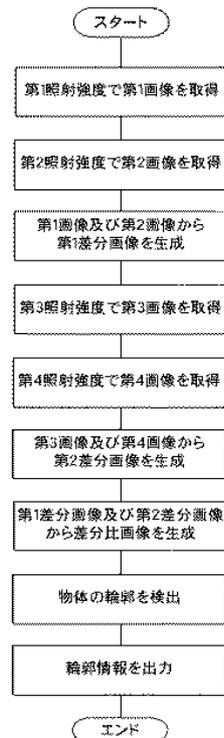
本発明は、頭頂部検出手段、第1、第2及び第3の2次元方向の較正手段を備えた演算処理手段を有するキャリブレーション装置であるため、各距離センサの位置および方向を較正するための作業負荷を軽減することができる。

関連分野

電気機械、電算機類、業務用機械、その他サービス

発明の名称	物体検出装置、物体検出方法、及びコンピュータプログラム		
出願人/権利人	TakumiVision株式会社	発明者	高田 浩和、安井 俊之、齊藤 和則
出願日	平成27年11月26日	出願番号	2015-230373
公開番号	2017-097689	特許番号	—
法的状態	出願中		

代表図



発明の概要

外乱光の影響を抑えつつ、画像から物体を検出することができる物体検出装置、物体検出方法及びコンピュータプログラム。

特徴

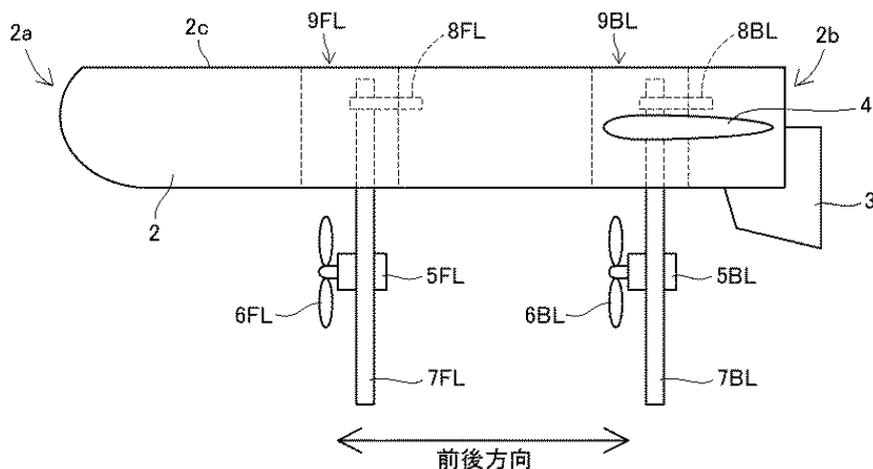
本発明は、①「第1差分画像生成手段」、②「第2差分画像生成手段」、第1差分画像生成手段によって生成された第1差分画像と、第2差分画像生成手段によって生成された第2差分画像との比により得られる差分比画像を生成する③「差分比画像生成手段」、差分比画像生成手段によって生成された差分比画像に基づいて物体を検出する④「物体検出手段」によって構成され、赤外領域の波長の照射光が照射されたときに外乱光の影響を抑えて物体を検出することが可能である。

関連分野

電気機械、電算機類、業務用機械

発明の名称	海流発電装置および海流発電システム		
出願人/権利人	安田 伊佐男	発明者	安田 伊佐男
出願日	平成27年11月30日	出願番号	2015-232841
公開番号	2017-101559	特許番号	6093839
法的状態	登録中		

代表図 1



- | | |
|---------------|----------------------------|
| 1: 海流発電装置 | 4: フラップ(姿勢制御板) |
| 2: 本体部 | 5FL、5BL: 発電機 |
| 2a: 船首 | 6FL、6BL: タービン |
| 2b: 船尾 | 7FL、7BL: ラック付き発電機支持部(昇降機構) |
| 2c: 甲板 | 8FL、8BL: ピニオン(昇降機構) |
| 3: ラダー(姿勢制御板) | 9FL、9BL: 昇降通路 |

発明の概要

水中浮遊式の高流発電装置、および当高流発電装置を備えた高流発電システム。

特徴

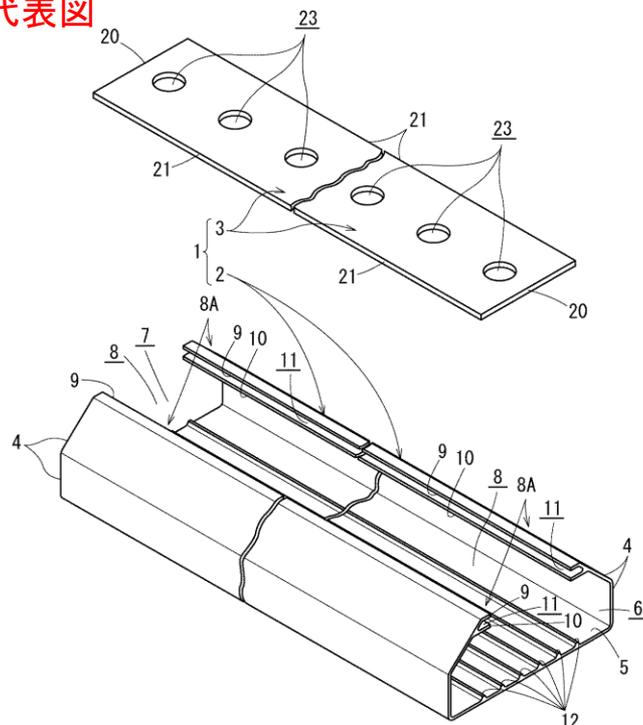
本発明の高流発電装置は、バラストタンクを有する本体部、高流を受けて回転するタービンを有する発電機、本体部に対して発電機を昇降させる昇降機構を備えている。発電状態への移行指令がなされると、昇降機構は本体部の下方にある発電位置に発電機を移動させ、発電休止状態への移行指令がなされると、昇降機構は本体部の上方にある発電休止位置に発電機を移動させる。このように構成されることで、長期間にわたる使用が可能でメンテナンス性に優れた高流発電システムとなっている。

関連分野

業務用機械、電気機械、海・空等輸送機械

発明の名称	植栽ベッドおよび水耕栽培システム		
出願人/権利人	株式会社三ツ星ファーム	発明者	尾上 文啓、御前 昌吾
出願日	平成27年12月24日	出願番号	2015-251268
公開番号	2017-112894	特許番号	—
法的状態	審査中		

代表図



- 1: 植栽ベッド
- 2: ベッド本体
- 3: 蓋部材
- 4: 側板部
- 5: 底板部
- 6: 一端開口
- 7: 他端開口
- 8: 上面開口
- 8A: 縁部
- 9, 10: 突条部
- 11: ガイド溝
- 12: 仕切条部
- 20: 端面
- 21: 長辺部
- 23: 植栽孔

発明の概要

湛水方式よりも水深の浅い薄膜水耕方式により水耕栽培を行なう植栽ベッド、およびこれを用いた水耕栽培システム。

特徴

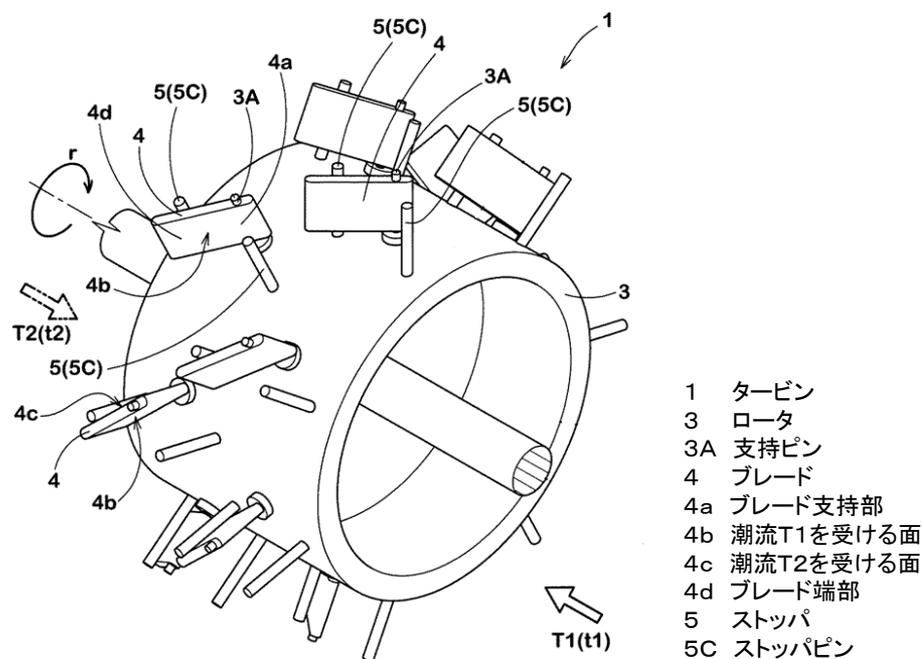
本発明では、植栽ベッド本体の上面開口の縁部に、蓋部材が本体長手方向移動自在に支持されている。このため、蓋部材の植栽孔に保持された栽培植物が成長した後、作業者は蓋部材をベッド本体に対し本体長手方向に移動させることにより、その位置に居ながらにして、生長した栽培植物を順次収穫していくことができ、栽培植物の収穫を極めて効率よく行なうことができる。また、蓋部材を移動させて開かれた上面開口からベッド本体内の点検掃除ができ、蓋部材も上下両面の点検掃除を容易に行なうことができる。

関連分野

エネルギー、飲食、業務用機械、建設・土木

発明の名称	タービン及び潮流発電装置		
出願人/権利人	斉藤 雅人	発明者	斉藤 雅人
出願日	平成29年2月21日	出願番号	2017-029866
公開番号	—	特許番号	6148803
法的状態	登録中		

代表図



発明の概要

低コストで製造可能であり、メンテナンスが容易なタービン及び当該タービンを含む潮流発電装置。

特徴

潮流発電装置では、逆向きの潮流を受けたときでも発電効率を向上させることが求められる。

従来技術では、潮流がスライドカラーを移動させ、当スライドカラーを介してブレードを傾動させることで、互いに逆向きの潮流を受けたときでもタービンを同一方向に回転させることが可能な発電装置が提供されていたが高製造コストとなっていた。

本発明では、ブレード端部に抵抗を与えるストップを設けたことを基本的な特徴とすることで、低コスト製造が可能であり、メンテナンスが容易なタービン及び当該タービンを含む潮流発電装置が提供される。